

一般社団法人 三重県作業療法士会 広報誌

OTみえ

No.141

2024.10

NEWS

令和6年度三重県作業療法士会活動について

contents

【広報部からのお知らせ】

掲載内容について

会員の皆様へ：広報誌への掲載希望、要望についてご意見をお聞かせください。

広報部 e-mail: mieot.kouhou@gmail.com

【巻頭言】

令和6年度 一般社団法人三重県作業療法士会活動について 三重県作業療法士会 会長 田中一彦

【知人 de リンク】

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部三重県済生会明和病院 伊藤航平

医療法人 尚豊会 みたき総合病院 山田祐弥

【施設紹介】

医療法人豊和会 訪問看護ステーション豊和 濱口 真

【令和6年度 一般社団法人三重県作業療法士会 定時社員総会】

令和6年度定時社員総会について 三重県作業療法士会 副会長 松本周二

新入会員交流会を開いて 三重県作業療法士会 福利部部长 上野平圭祐

定時社員総会と意見交換会に参加して 藤田医科大学七栗記念病院 佐藤 凜

新生涯学習制度について 教育部 三重県立総合医療センター 富中真悟

【各部局、委員、ブロックの活動報告】

教育部より

啓発部より

地域リハビリテーション部より

福利部より

運転と作業療法委員会より

【賛助会員のご紹介】

日本モッキ 〒516-0008 三重県伊勢市船江3丁目17-19

Tel. 0596-65-6039 https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/

株式会社システムネットワーク ヘルスケア事業部 〒530-0051 大阪府大阪市北区太融寺町2-18 9F

Tel. 06-6364-0529 <http://www.system-network.co.jp/company.html>

田中セイ株式会社 〒518-0444 三重県名張市箕曲中村207

Tel. 0595-63-7851 <https://www.tanakaseni.co.jp>

学校法人名古屋石田学園 星城大学 〒476-8588 愛知県東海市富貴ノ台2-172

Tel. 052-601-6000 <http://www.seijoh-u.ac.jp/>

【勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について】

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/study/>

【求人情報】

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

【編集後記】

表紙写真：名張市 青蓮寺湖ダム

Topics

令和6年度 一般社団法人三重県作業療法士会活動 について

三重県作業療法士会 会長 田中一彦



当士会の活動の柱は、作業療法士の質の担保と作業療法の啓発事業、組織の運営です。

学術活動では、第35回三重県作業療法学会を津市で対面開催し、南勢ブロックが担当で運営します。日頃の活動を振り返り、演題発表に向けて取り組んでみませんか。

学術部では、分野別の勉強会を企画しています。日々の臨床活動スキルアップのため、より深く学ぶきっかけとなるとと思います。

教育部の研修会は、認定作業療法士を目指すためにも必須の研修となります。各地区・施設内で後進育成が出来るよう、県内に多くの認定作業療法士を育成したいと思います。

地域リハビリテーション部では、地域で活躍出来る作業療法士育成のための研修会を企画しています。この分野は作業療法士に対するニーズの高いものです。中でも認知症に関する取り組みは県内外より高い評価を受けています。是非ご参加ください。

組織部では、県士会活動を学ぶ研修会やリーダー養成研修会、管理職 OT ネットワークの会など組織運営の学びや相談ができる場を作っております。

福利部では、会員間の交流のため新規入会者オリエンテーションや会員交流会企画を準備しています。また倫理問題の相談窓口となっておりますので必要時はこちらへご連絡ください。

その他には、運転支援、障がい者スポーツ支援、災害支援に向けた取り組みも行なっていく予定です。特に能登半島地震支援を通じて、県内でも対応できる人材の育成を早急に行う必要性を感じました。有事に備えていくために会員の皆様の協力をお願いします。

作業療法に関する啓発活動では、高校生作業療法体験・見学会を病院・施設で実施します。将来の作業療法士のためにも見学会のご協力をお願いします。県民に作業療法士をPRする公開講座は秋頃に対面開催を予定しています。また県士会ホームページや広報誌を用いた広報も継続していきます。

会員一人一人の日々の実践が作業療法啓発の基本となります。作業療法が必要とされる職種として認識されるためには、各自の実践と組織力の向上が重要です。団結して取り組んでいきましょう。

県士会組織の運営では、県士会活動の拡大、会員数の増加に伴い事務局、各部局・委員会の仕事量が増加しています。特に事務局・財務部の負担は年々増加しています。仕事の効率化、業務の見直し、外部委託なども念頭に組織の再編成、人材登用を進めていきます。一部の会員だけに負担がかからないよう会員の皆様の参画、協力を切に願います。

最後に、近隣の作業療法士の学び、交流の場として、ブロック別、地区別の活動も行なっていますので、自分が所属している地区・ブロックを確認していただき積極的な参加・交流をお願いします。

県士会活動は、知見の拡大、新しい仲間との出会いなど多くのメリットもあります。自己研鑽に是非ご参加ください。

県士会活動は皆さまの参画、協力が不可欠です。ご協力よろしくお願ひ致します。

知人 de LINK

社会福祉法人恩賜財団済生会支部三重県済生会明和病院

伊藤航平

皆さん、こんにちは。前回、医療法人社団主体会小山田記念温泉病院の坂田翔平さんよりご紹介頂きました社会福祉法人恩賜財団済生会支部三重県済生会明和病院の伊藤航平です。



Q: 現在の所属と分野について

現在、回復期リハビリテーション病棟で勤務しています。主に脳血管疾患の方を対象にリハビリを行っています。

Q: 仕事のやりがいや面白いと思う事

患者さんが今後の生活に自信を持って退院を迎えたときに一番やりがいを感じます。また、生活の中で何が大事か、何を必要とするかは一人一人違うため、入院時や一定期間ごとにアセスメントを行い、患者さんのニーズに沿ったリハビリの考案、退院後の生活を考えることが楽しいと感じます。

Q: プライベートな趣味・特技・マイブームなど

私は3歳と1歳の娘がいるため、マイブームは遊園地に行くことです。特に「志摩スペイン村」にはよく行きます。特に私がお勧めしたいのは「インバーテッドコースター ピレネー」という吊り下げ式ジェットコースターです。最高時速100kmで走るためとても爽快感があり、日々の疲れが飛んでいきます。また、パレードやショーも素敵で、ダンサーやスタッフのファンサービスが多いため娘たちもすごく楽しそうにしています。



Q: 次へリンクする方とのエピソード

専門学校と同級生で、現在も仲良くさせていただいている松阪厚生病院の嶋津貴大さんを紹介させていただきます。学生時代、嶋津さんの実家でテスト勉強を行うのが一番集中でき、頻りに泊まらせてもらったという懐かしい思い出もあります。学校を卒業してから5～6年たち、お互いに環境が変わりましたが現在も定期的にゴルフやスポーツ観戦などで遊び、とても仲良くさせていただいています。

みたき総合病院 山田祐弥

皆さまこんにちは。今回、花あかり訪問看護リハビリステーションの古市愛理さんからご紹介いただきました、みたき総合病院の山田祐弥です。



Q: 現在の所属と分野について

現在、私は回復期リハビリテーション病棟で働いています。主に脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの運動器疾患の方を対象に、在宅・社会復帰に向けたリハビリテーションを実施しています。

Q: 仕事のやりがいや面白いと思うこと

患者様の不安が練習を通して自信へと変わり、できなかった動作を獲得していく姿をみることやそのサポートをできることがこの仕事のやりがいです。患者様と喜びを共感させられることは嬉しいです。そのための知識・技術を学び続ける楽しさもあります。

Q: プライベートな趣味・特技・マイブームなど

現在の趣味は、園芸です。育て始めると植物によって植え替える時期や肥料が必要な時期、水やりのタイミングなど自分の手の加え方で良くも悪くもなるので、育てていて楽しいです。失敗しながらも植物たちが元気に満開の花を咲かせると嬉しくなります。患者様にも植物に詳しい方がたくさんみえるので相談にのってもらうなど、話のネタになっています。今は鉢植えで管理ができる



数にしぼって育てていますが、いずれは花壇をつくってたくさん種類の花を育てられるといいなと思っています。

Q: 次へリンクする方とのエピソードなど

今回は元同僚である武内病院の谷口裕幸さんを紹介させていただきます。谷口さんは勉強熱心な方で、一緒に研修を受けた思い出があります。また、みんなでご飯に行きましょう。よろしくお願ひします。

施設 紹介

医療法人豊和会 訪問看護ステーション豊和

濱口 真



施設紹介

医療法人豊和会は、志摩市、鳥羽市を中心に、病院（療養型）、介護老人保健施設、介護付き有料老人ホーム、グループホーム、通所リハビリテーション、通所介護、訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションなどのサービスを提供しています。

私の所属する訪問看護ステーション豊和は、志摩市阿児町にある近鉄鶴方駅より徒歩約10分のところにあります。

当ステーションは、平成9年5月に開設され、平成20年6月に現在の在宅総合センター豊和内へ移転しています。現在、志摩市、鳥羽市、度会郡南伊勢町の1部エリアにてサービスを提供しています。

当ステーションは、常勤の看護師4名・OT1名・PT2名、非常勤のOT1名・PT1名の計9名が在籍しています（令和6年8月30日現在）。

仕事紹介

当ステーションでは、急性期・回復期から在宅復帰された方、神経難病で在宅生活が困難な方、終末期で看取りの方などを対象に、訪問による看護・リハビリテーションを提供しています。

リハビリテーション目的の場合、OT・PTが対象者の自宅を訪問し、実際の生活の場でリハビリテーションを行います。自宅で安心して、よりよい生活が送れるようにサポートしています。また、OT・PTは看護師と緊密に連携し、対象者の在宅生活を支援しています。具体的には、看護師による定期的な訪問による評価や、ステーション内でのディスカッションなどを随時行っています。



当ステーションにおけるリハビリテーションの内容としては、日常生活のためのリハビリテーション、生活状況にあった福祉用具の選定や住環境整備のアドバイス、趣味活動を行えるような工夫や練習、生活スタイルに合った自主トレーニングの提案などを行っています。

また、難病の方への機能維持ため運動や生活指導、ご家族へ向けての介護・介助方法のアドバイスなども行います。

その他疾患の方についても、安心・安全に自宅での生活ができるよう、症状・状態にあった、また、生活に即したリハビリテーションの提供を行っています。

多職種連携として、介護支援専門員や他サービス事業所などと日頃から密に連携を取っています。電話や、計画書・報告書の提供、サービス担当者会議への参加などで、リハビリテーションの進捗状況、問題点などの共有を行っています。

また、地域リハビリテーションの活動として、鳥羽市の自立支援型地域ケア会議へアドバイザーとして参画しており、地域課題の発見、共有、解決に取り組んでいます。当会議では、リハビリテーションの専門家として、自立支援に必要なリハビリテーション・社会資源の導入の提案、趣味や余暇活動の開発などをアドバイスしています。

ステーション内では、訪問看護研修を毎月、看護師と合同で実施しています。主に訪問看護ステーション運営に必要なとされる内容（リスク管理など）となっています。また、リハビリテーション部門主催の勉強会を、法人内の他事業所所属のOT・PTと合同で毎月開催しています。ここでは、リハビリテーションに特化した内容となっており、最新の知見および技術などの習得を図っています。

今後について

医療法人豊和会では、リハビリテーション職員の新人・若手や、指導者に対する教育システムを開発し、実践しています。教育の標準化を図ることで、サービスの品質管理を図るとともに、職員のスキルアップをサポートしています。また、リハビリテーション部連携会議・役職者会議も開催され、リハビリテーション部門内の課題解決など事業所間の垣根を超えて密に連携しています。

今後、教育システムをブラッシュアップすることで、サービスの質向上を図るとともに、より働きやすい環境の整備を目指していきます。

[定時社員総会の報告]

令和6年度一般社団法人三重県作業療法士会 定時社員総会について

三重県作業療法士会 副会長 松本周二

一般社団法人三重県作業士会の令和6年度定時社員総会は、6月16日(日)11時10分より4年ぶりに三重県総合文化センター生涯学習棟視聴覚室にて開催されました。今回の委任状数は422名、当日参加者数は60名となりました。

社員総会は一般社団法人の重要事項などを決定する「最高意思決定機関」です。全ての社員で構成され、社員は原則一人一個の議決権を持ちます。一般社団法人にとって重要な事項、例えば役員の選任や解任、定款変更などを行う場合に開催され、社員による決議が行われる場です。今回は、初めに田中会長から挨拶をいただきました。その後は議案に沿って、各部局より事業報告、計画を述べてもらいました。

議案は以下の通りで全ての議案が承認されました。

1号議案 令和5年度事業報告

2号議案 令和5年度会計決算報告

3号議案 令和6年度事業計画案

4号議案 令和6年度予算案

5号議案 第36回三重県作業療法学会長 選任

第5号議案で、杉野達也氏(三重北医療センター菟野厚生病院)が選任されました。

これをもって社員総会は終了、閉会となりました。

新入会員交流会を開いて

三重県作業療法士会 福利部部长 上野平圭祐

6月16日に久しぶりに対面での総会、新入会員交流会を開催することが出来ました。前年度までもオンラインでの交流会は行っていたのですが、今年の交流会は画面上でのやりとりよりも実際に顔を合わせながら交流をすることの楽しさを実感することの出来た会でした。

今回は新入会員、既存会員を含め59名の方が参加して下さり、様々な世代間での交流を持つことが出来ました。会の中でレクリエーションとして行った商品を懸けたペーパータワーでは各チーム内での本気の話し合いや試行錯誤の様子があり、チームで一つのことに取り組む楽しさや難しさを経験することが出来たのではないかと思います。



会の最後にも話した通り、県士会は新入会員の皆さんの力を必要としています。これから三重県作業療法士会という一つのチームを盛り上げていくため、是非協力をしてください。

皆で一緒に楽しくやってみましょう!!

定時社員総会と意見交換会に参加して

藤田医科大学七栗記念病院 佐藤 凜

三重県作業療法士会の定時社員総会と意見交換会に初めて参加させていただきました。

勉強会では、様々な分野で働く先輩方の体験談を聞かせていただきました。勉強方法やおすすめの参考書なども知ることができ、とても大きな学びの場となりました。

今後、機会があれば、今回参加することのできなかつた別

領域の勉強会にも参加したいと思いました。また、新人交流会にも参加させていただきました。他の勤務地で働く新人の方だけでなく、幅広い分野、年代の方々と交流をすることができました。オンラインではなく対面で貴重な時間を過ごすことができて良かったと思います。また機会があれば参加したいと思いました。

[各部署、委員、ブロックの活動報告 1 教育部]

新生涯学習制度について

教育部 三重県立総合医療センター 富中真悟

2025年4月より新生涯学習制度がスタートします。新生涯学習制度の特徴は、現行の生涯学習制度である「基礎研修制度」から、新たに「登録作業療法士制度」に移行されることです。基礎研修制度における受講履歴は、登録作業療法士制度に引き継がれるように検討されています。

生涯教育制度では、必修の現職者研修と基礎研修自由選択で合わせて基礎ポイント50ポイントを取得することで、認定作業療法士取得研修に進む仕組みになっていました。新しい新生涯学習制度では、2年間の前期研修、3年間の後期研修、臨床実習指導者講習会、MTDLP基礎研修を受講することで「登録作業療法士」になり、認定作業療法士の取得に向けた取り組みに進みます。更新は引き続き5年ごと、生涯教育制度における基礎研修修了更新要件と新生涯学習制度における登録作業療法士制度の更新要件は同じです。

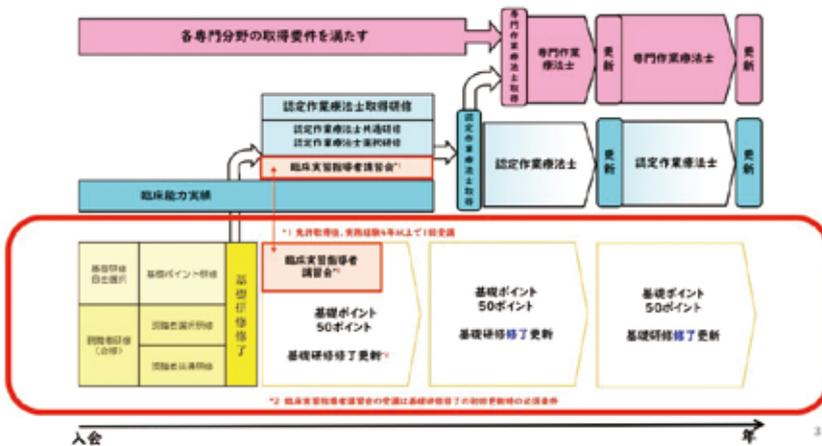
じです。

「登録作業療法士制度」では、研修内容が大きく変わります。前期研修、後期研修ではe-ラーニングシステムを使用した研修や、現場での実地経験などを設定します。前期研修で実施される、前期e-ラーニング研修は、学習システム(LMS)を使用し、PCやタブレット、スマホを使用しての学習ができるように構築されます。

基礎研修修了・更新が未申請の方は、新生涯学習制度移行後、スムーズに対応していただくために、現行制度内で基礎研修修了・更新要件を満たしている場合は申請の完了をお願いします。修了申請は会員ポータルサイトからご自身で行う必要がありますので、申請作業をお願いします。

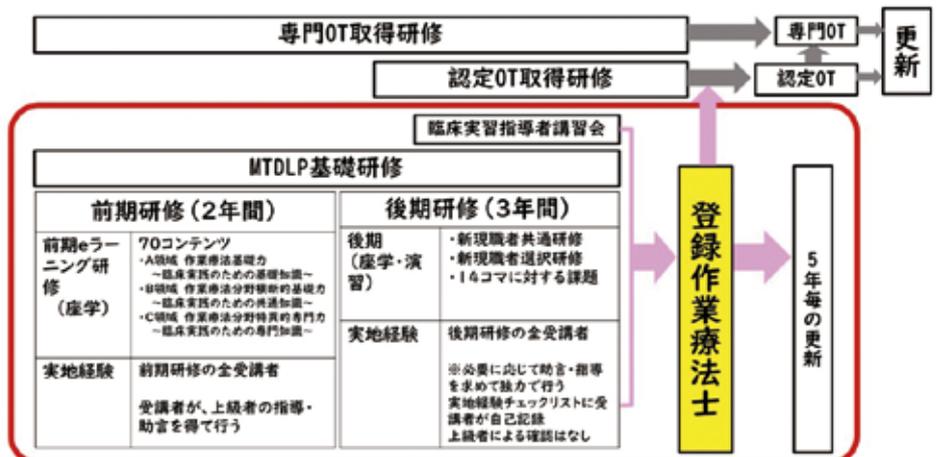
詳しい内容は、日本作業療法士協会誌 第147号 2024年6月発行をご参照ください。

現在の生涯教育制度 構造図



< 新生涯学習修制度 概要図 >

2024/3/2現在



【各部局、委員、ブロックの活動報告 2 啓発部】

「ライフサポートフェスタ 2023」に参加して

医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院 森 順平

令和6年3月23日(土)、24日(日)の2日間にわたって津市芸濃総合文化センターにて開催されました「ライフサポートフェスタ～子どもの快適な育ちを支援する福祉機器展～」に、三重県作業療法士会として、啓発活動や社会貢献(発達支援)活動の一環として24日1日のみでしたが、参加させていただきました。

ライフサポートフェスタでは、三重県理学療法士会や三重県言語聴覚士会は基より、自助具・福祉機器など扱った様々な企業の出店企画や療育相談が33ブースあり、2日間全体で533名と多くの来場者が訪れるイベントとなりました。

三重県作業療法士会では、サウンドボールを使用した卓球レクリエーションを行い、子供たちの楽しそうな笑顔に癒されながら啓発活動を行うことができました。今回、OTブースへは、56組101名の方に参加していただきました。発達支

援に関わるイベントであったため、当事者の方の参加も多く、作業療法やリハビリテーションについて知っている方が多数お見えになりました。

このような地域の活動に参加することで、参加者の方と楽しみを共有しながら「作業療法士」という仕事について啓発を行うことで、多くの方に知って

いただくきっかけになると共に、社会貢献に繋がっていくことができたことについて、非常に良かったと感じています。

県士会員の皆様におかれては、今後もこのような機会がございましたら、是非ともご参加いただけるのをお待ちしております。最後になりますが、今回参加したスタッフの皆様ありがとうございました。



会場の様子



サウンドボールを使用した卓球



参加したスタッフ

令和6年度 高校生作業療法体験・見学会

啓発部 鈴鹿医療科学大学 島崎博也

啓発部主催による高校生作業療法体験・見学会を、令和6年7月22日(月)～27(土)の期間で実施いたしました。

本年は、県内56施設に受け入れ協力をしていただき、高校生より希望のあった34施設へ48名の高校生に参加していただきました。高校生48名の内訳は「1年生18名、2年生16名、3年生14名」であり、全ての高校生にアンケートを実施できたので報告します。

作業療法を知っていた高校生は、48名中44名であり、参加学生のほとんどが知っていました。知った時期は、小学生が7名、中学生が19名、高校生が18名でした。どこで知ったかとの問いには、学校、家族、病院や施設、インターネット、オープンキャンパスで知ったという意見を多く認めました。

学生の感想として、「仕事内容について詳しく知ることができた」、「リハビリの分野が広く身体・精神・発達などいろいろな場面で必要かつ活躍できる仕事であり興味が深まった」、

といった率直な意見や、「患者さんと一緒に頑張っ乗り越えるスタンスが素敵な職種だと思った」、「仕事をしている姿がかっこよかった」、「作業療法士になるためにたくさん勉強を頑張りたい」などといった素敵な意見もあり、参加者48名全員が見学会に参加して「作業療法に対する興味が深まった」と回答いただけました。これらの結果を得て、啓発部としても実施する意義があり、大変良かったと思っております。と同時に、施設ご担当の皆様方には、感染対策などいろいろな制限がある中ご対応いただき、本当に感謝いたします。

本年は、県内の56施設に受け入れの承諾をいただき、参加者がいなかった残りの22施設の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。しかしながら、多くの受け入れ施設があるということで参加高校生における施設の選択肢が広がることや、高校進路指導の先生方に対し非常に高い啓発効果を認めているのも事実です。県士会の皆様方には、本活動を来年度も継続的に実施して参りたく思いますので、是非ともご協力いただけますようお願い申し上げます。

高校生へ作業療法体験・見学会 参加者の感想



写真：藤田医科大学七栗記念病院

参加した高校生の感想

本日は私たちのために貴重な時間を頂きありがとうございました。私は前から作業療法士について興味を持っていたのですが、作業療法士について学んだり見学したりする機会が無かったので、今回、作業療法士の先生方に沢山の事を教えていただき更に作業療法士についてイメージを膨らませ、将来の進路について考える良い機会になったと思います。高次脳機能障害についても知ることが出来て、もっと詳しく調べてみようと思いました。あと、高次脳機能障害をテーマとしたアンメットというドラマや心理学についてもみたり調べたりしようと思います。私は将来、沢山の人の人を笑顔にさせることができる職業に就きたいと思っているのでし作業療法士になれ

たら患者さんと沢山コミュニケーションを取って、「ありがとう」と感謝されるような人になりたいと思いました。(Aさん)

この度はお忙しい中ありがとうございました。資料など使って説明してもらい作業療法について詳しく知ることができました。病院内の雰囲気が明るくて生き生きと働いている姿がとても魅力的でした。靴下を履くことや箸を使うとき動作のとき、少しの工夫をすることで、とても便利になることを実感できました。また作業療法士さん自ら道具を作るときがあると聞いて驚きました。体験をしてみることで新たな発見ができ、ますます作業療法士の仕事が魅力的に感じました。これからの進路に向けてとても良い経験になりました。(Bさん)



写真：藤田医科大学七栗記念病院

【各部署、委員、ブロックの活動報告 3 地域リハビリテーション部】

認知症スキルアップ研修会開催の報告

認知症とともに班 芹の里介護老人保健施設 村田 伶

令和6年2月4日(日)に、一般社団法人 三重県作業療法士会 地域リハビリテーション部認知症とともに班主催の認知症スキルアップ研修が開催されました。総勢35名(うちOT28名、他職種7名)の方がご参加していただき、大変盛り上がりました。

今回は 認知症対応型 通所介護「とんと」OHANA 管理者、認定作業療法士の伊藤篤史先生を講師としてお迎えし、「地域におけるリハビリテーションの視点」をテーマに講演していただきました。数多くの実績がある伊藤先生は、「認知症にやさしいまち大須プロジェクト」や「元気かい」など多方面の事業にも着手されご活躍なされています。大変勉強になる講演で、参加された皆様も熱心に聞き入っていました。多方面の

領域の方、専門職、住民がつながることを目指し、活動に尽力されている先生の取り組みに心が動かされました。

その後の質疑応答や情報交換会では、活発な意見交換がされていました。他府県、他職種、地域包括支援センター、県庁の方なども参加され、「今日からの仕事を違う視点でとらえたい」「ご家族も含め支えてくれる他職種との関わりを密にしたい」というご意見をいただき嬉しく思いました。

ご参加いただいた皆様、貴重なご講演をしてくださった伊藤先生に厚く御礼を申し上げます。また運営に携わって様々なサポートをしてくださった認知症とともに班の皆様のおかげで、今回の研修会を成し遂げることができました。本当にありがとうございました。



認知症フレンドリー研修会開催の報告

認知症とともに班 はちデイサービスセンター 前田健太



令和6年2月16日(金)に、一般社団法人 三重県作業療法士会 認知症とともに班主催の認知症フレンドリー研修が開催されました。総勢28名(うちOT22名、他職種6名)の方々にご参加いただきました。

今回は鹿児島大学医学部保健学科 作業療法学専攻の池

田由里子先生を講師としてお迎えし、「認知症の人の生活支援と社会生活継続に向けた視点と取り組み～企業との連携～」というテーマでお話していただきました。主観的認知機能低下(SMC)という状態が存在すること、視線行動がIADLに影響を及ぼしていることなど目新しい知識、気づきが数多くある内容で、大変勉強になりました。また、生活協同組合コープかごしまとの協働の取り組みについてもお話をいただきました。企業と連携しながら地域貢献をする姿や行動力に心

を動かされました。その後、認知症とともに班による買い物に焦点を当てた社会実装(当事者班:認知症の人への買い物評価、企業班:買い物の場所となるスーパーなどの企業を対象に調査)についての活動報告を行いました。池田先生からも貴重なご助言をいただき、今後の取り組みに向けてますます活力が湧いてきました。

質疑応答でも数多くのご意見、ご質問をいただき、まさに時間が足りないという状況だったことを少し残念に思います。

ご参加いただいた皆様、貴重なご講義をしてくださった池田先生、ありがとうございました。



介護予防リハビリテーション多職種研修会に参加して

医療法人豊和会 訪問看護ステーション豊和 濱口 真

私は現在、鳥羽市の地域ケア会議にアドバイザーとして参画させていただいております。地域ケア会議では、多職種が集い、それぞれの立場から、対象者の自立支援に向けて意見交換を行います。地域ケア会議に参画する中で、作業療法士に求められていることは何であろうかと考えてきました。



これまで、日本作業療法士協会主催の「地域ケア会議に資する人材育成研修(e-ラーニング講座)」などを受講し、制度や方法論などを学んできました。

今回の介護予防リハビリテーション多職種研修会では、行政の立場にいる理学療法士、地域の介護予

防事業に携わってきた作業療法士、地域包括支援センター所属の保健師と、地域で実際に活躍されてきた方の講義が聞け、大変勉強になりました。

なかでも、「地域ケア会議において、作業療法士には、活動と参加を困難にしている要因を分析し、解決方法をアドバイスしてほしい」という講義が印象的でした。

今後、作業療法士として、活動と参加にフォーカスし、対象者の自立支援に寄与できるよう介護予防リハビリテーションに関わっていきたくと考えていきたいと思ひます。



[各部局、委員、ブロックの活動報告 4 福利部]

次も参加したいファミリー交流会

市立四日市病院 本郷了太

令和6年9月7日(土)に三重県作業療法士会福利部主

催のファミリー交流会に参加しました。今回は「奥伊勢フォレストピア」という場所で魚釣りとバーベキューを楽しむ企画でした。福利部主催のイベントに初参加とあって緊張して

いましたが参加してびっくり、頼りになる福利部員や気さくな先輩、明るい後輩や同世代の家族に囲まれ、初めましてとは思えない雰囲気です。時間が過ぎていきました。魚が釣れると歓声が沸き、釣りたての魚やおいしいお肉をみんなで食べ、子供同士はすぐに仲良くなって走り回り、親達は近くに座りゆっくりお喋りして過ごすことができました。交流会終了後は現地解散となり、帰る人やトレッキングに行く人、川遊びをする人などそれぞれの家族が名一杯楽しんでいたと思います。帰りには温泉に入り体も心もリフレッシュ、帰宅後は



子供とぐっすり眠りました。天気にも恵まれとても楽しい時間を過ごすことができました。今後も同じような企画があれば参加したいと思います。この記事を読んで少しでも興味をもった方がいれば一緒に参加しましょう。



【各部局、委員、ブロックの活動報告 5 運転と作業療法委員会】

運転時認知障害早期発見チェックリスト 30 を知っていますか？

三重県身体障害者総合福祉センター 支援部 橋本年代

高齢の利用者様やご家族様から、自動車運転の継続についてご相談を受けることも業務の中ではないでしょうか。

自動車の運転は、視力、認知力、判断力、反射神経、筋力などさまざまな能力を同時に必要とする複雑な作業です。加齢とともにこれらの能力は自然と衰え、運転の技術も低下します。加齢による身体機能の衰えや認知機能の低下は、高齢ドライバーによる加害事故の原因ともなっています。

どんなに安全運転に気をつけていても、ハンドルやペダル、機器の操作にうっかりミスが増えたり、行きつけの場所への道順を忘れてしまったりすることなどが立て続けに起こるようになると、軽度認知障害（MCI）や認知症も考えられます。

このように、日常生活の中では気づきにくい初期の認知機能の衰えが、自動車を運転する行為には比較的表れやすく、MCIの方の運転時に表れやすい事象をまとめたものがNPQ法人高齢者安全運転支援研究会のHPに公開されている



「運転時認知障害早期発見チェックリスト 30」が下のQRコードです。

同リストで5項目以上チェックが入る場合は、認知機能の病的障害を念頭に専門機関で診てもらおうなどの目安となります。また、車の運転を続けたいと思う一方で、運転免許証の自主返納をお考えの方にとっては、自主返納を考えるひとつの目安となると思います。



運転時認知障害早期発見チェックリスト 30

NihonMokki のパズルレンタルのご案内

指先運動とパズルで脳トレ! 科学誌ニュートンにコラムを掲載していた Asobidia の本格パズルが定期的に来ります。

レンタルなので、パズルに飽きたころに新しいパズルが届きます!

お問い合わせは こちらの QR コードから



日本モッキ

https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/

0596-65-6039

e-mail wood@nihonmokki.jp

Puzzle Rental



VR型半開空間無視リハビリ支援システム

vi-dere

Vi-dere(ウィデーレ)はVR技術を用いて、机上検査ではできなかった、三次元的評価を
実現しました。

無視領域をマッピングを用いて
可視化

独自のスリットシステムによる
介入訓練が可能

日常場面に近いADL訓練課題も搭載
(食事・通路通過など)



撮影協力：亀田リハビリテーション病院様

視覚認知領域を定量的にマッピング化かつ
ADL場面を含めた評価・訓練が可能になりました



株式会社システムネットワーク



星城大学大学院 健康支援学研究科

健康支援学領域

障害・リハビリテーションや健康支援・障害予防のための環境と方法を科学する

障害発生後のリハビリテーション健康支援と中高年者の心身の健康保持増進に向けた生活健康支援に関する知識と技術を普及できる臨床家と研究教育者を養成

2024年度 大学院 生 募 集

【お問い合わせ】 星城大学大学院入学試験係

〒476-8588 愛知県東海市富貴ノ台 2-172 TEL.0120-601-009 FAX.052-601-6010
URL <https://www.seijoh-u.ac.jp/graduate/> e-mail:nyushi@seijoh-u.ac.jp

[勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について]

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/study/>

[求人情報のご紹介]

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください <http://mieot.com/info-cat/job/>

[編集後記]

本号の編集中の9月時点ですが、まだまだ暑い日が続きます。今年度は、報道でもご存じのとおり、猛暑続きでした。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

7月から8月にかけて、オリンピック・パラリンピックが開催されました。日本人選手が活躍したフィエンスやスケートボードに興味を持つ子どもたちが増えたそうです。作業療法士も多くの場面で活躍し、志望者を増やしていく必要があると感じました。数年ぶりに令和6年度の定時社員総会は対面で行われるなど、学会や会議も対面形式が増えてきました。対面で行うことで、県士会員同士の交流も増えてくるのでは無いかと感じました。三重県作業療法士会の発展に向け、会員の皆様のお力をお貸ししていただけると幸いです。今後ともどうかよろしくお願い致します。

(編集：渡邊 誠 部局員：萩野 創、岡田拓郎、佐古健太郎、北畠正人)

発行所

〒514-1296
三重県津市大鳥町424-1
藤田医科大学七栗記念病院内
一般社団法人三重県作業療法士会 広報部
発行責任者：田中一彦

事務局

〒512-1111 三重県四日市市山田町5538-1
小山田記念温泉病院 リハビリテーションセンター内
一般社団法人三重県作業療法士会 事務局
TEL: 059-328-1260 FAX: 059-337-9511
e-mail: mieotjim@yahoo.co.jp